

公表

事業所における自己評価結果（放課後デイ）

事業所名		放課後等デイサービスデザイン					公表日		令和8年 5月 29日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	戸外での活動を取り入れたり、別室にて対応を行っている。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8		適切な配置条件でシフトを組んでおり、支援が適切に行えるようにしている。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			現時点では問題ないが、今後必要に応じて検討していく。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎回、朝と支援終了時に清掃を行っている。引き続き安心して過ごせる環境を提供していく。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		どの部屋も使用可能。子供たちの行動が死角にならないよう職員が常に各部屋にいる状況を作っている。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		毎日朝のミーティングを行い、一日の活動の内容を確認しあっている。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価表に限らず、保護者や子供たちからの声を職員全員で周知できるようにしている。改善すべき課題あれば話し合いを行っている。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		個別で面談を行ったり、朝のミーティングにて声を拾う機会を意識的に設けている。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5		第三者による評価については検討中。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		県からの案内や外部からの研修や事業所内研修を定期的に行っている。					
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		HPにて公表している。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		関係機関と情交換を行い、支援の変更が必要な場合は保護者とモニタリングを行い計画書に反映している。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		アセスメントやモニタリング後は全職員が情報を共有し、支援内容の検討を行っている。					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画書がいつでも確認できるように工夫を行っている。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	子供の現状が把握しやすい内容になっているアセスメント用紙を使用し、双方で確認できるよう工夫している。					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		支援会議で話し合い、作成を行っている。項目ごとに支援内容を書き込み、具体的に分かりやすくしている。					

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		児童に関わる全職員で行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		子供会議を月一で行っている。子供が主体となる活動を意識し、会議で出た意見が活動に反映されるよう計画を立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		子供の状況に合わせた計画書を作成し、変化があれば保護者へ報告し、その都度状況にあった支援になるよう工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝のミーティングにて行っている。変更があれば全職員に周知できるよう工夫をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	翌日の朝のミーティングにて実施し、職員間での共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		ミーティングを行い支援の内容を伝えあったり、支援方法の検討や利用児の課題を確認し、話し合った内容を記録に反映できるよう工夫している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		積極的に参加し情報共有を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	1	工夫して行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		日々の事業所での活動を、利用児自身でスケジュールを立て行動している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援管理責任者もしくは施設長が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		定期的に、関係機関との会議を設けている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		送迎時に学校の先生と情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	現在対象の児童がいないので、今後必要になれば対応する。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	現在までに例はないが、対象者がいれば対応する予定。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	地域の公園へ行った際に交流を行う機会がある。	今後は計画性のある交流を行えるよう検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5		機会があれば参加を検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		保護者との連携は密に取り合い、話しやすい関係性を築けるよう工夫している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	現在は市町村や病院等の情報を必要に応じて案内を送っている。	保護者の求めるプログラムを提供できるよう、情報収集に努める。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	契約時に丁寧に説明を行い、聞き落としが無いよう気を付けている。質問等があれば随時対応できることも保護者へ伝えている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	利用児と会話を通してその子の思いを聞き出していき、保護者に情報を共有しながら支援に内容について話を進めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		支援計画書の案を立て、内容を確認してもらい承諾を得て計画書を完成させている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		随時行える対応をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	7		保護者の意見を尊重し、検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			HPにて発信しているが、更新頻度が低いので、定期的に更新できるよう努めていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		外部に書類を持ち出さないようにしている。また定期的に個人情報の取り扱いについてミーティングにて再確認を行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		大事な内容は、口頭だけではなくLINE等を利用し、文字で伝え記録に残るよう工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	地域への行事には参加している。	今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各マニュアル準備し、必要に応じてすぐに見れる場所へ掲示している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		年二回以上のの避難訓練を行っている。また、散歩等の活動で避難場所への経路確認も行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		アセスメントにて行っており、適切な対応ができるよう全職員が把握できるよう工夫している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	医師からの診断書を提出してもらい、対応や対策を確認している。アレルギー食品は、食事やおやつ of 食材に入れないようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		避難訓練や虐待防止の研修等を行い、安全に過ごせるような環境作りに努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		年二回以上のの避難訓練を行い、HPにてアップし周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		報告と未然対策の為に職員全員参加の会議を持ち、記録を残している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年に二回以上の事業所内研修会を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		身体拘束の研修で対応する事例をあげ、いつでも対応の準備ができるよう職員に周知を行っている。	